

授業科目(ナンバリング)	福祉行財政と福祉計画論 (DB402) (実践的教育科目)			担当教員	種橋 征子 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	4 年・前期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニング の 類 型
社会福祉基礎構造改革以降、我が国の社会福祉は市町村を基盤に行政、住民、事業者が参加して計画を策定することが求められるようになった。このため、社会福祉士として計画策定に携われるよう、制度的な基盤である行財政の知識と福祉計画の意義、およびその技法を習得する。							②⑩
ホスピタリティを構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標					評価手段・方法	評価比率
専門力	福祉行財政の歴史、現状、課題について説明することが出来る。福祉計画の目的と内容を説明することが出来る。					定期試験 小テスト	20% 10%
情報収集、分析力	昨今の社会情勢の動向から、今後の福祉行財政の方向性を考えることが出来る。					定期試験	40%
コミュニケーション力	授業内における、ディスカッションや教員からの問いかけに積極的に参加することが出来る。					授業への参加度	10%
協働・課題解決力							
多様性理解力	様々な領域の福祉計画について理解し、説明することが出来る。					定期試験	20%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験は筆記試験を行う。資料やテキストなどの持ち込みは不可とする。授業内で小テスト、ディスカッションのフィードバックを行う。質問事項や意見は、授業の終了 10 分前からポートフォリオに書き込んでもらい、次時間に解説する。							
授 業 の 概 要							
現代の社会福祉サービスは国が基本的な政策の方向性を示すものの、市町村を基盤とし、行政担当者とサービス利用者である住民および事業所が参加して策定する計画に基づいて実施することが求められるようになった。社会福祉士として福祉計画の策定にあたるができるよう、講義やディスカッションを通して社会福祉の実践を支える制度的な枠組みである『福祉行財政と福祉計画』について在宅福祉サービス事業部の管理職の経験を持つ教員が、実務経験を踏まえた授業を展開する。授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：社会福祉士養成講座編集委員会編(2017)『福祉行財政と福祉計画 第5版』中央法規出版。 参考書：授業中に適宜紹介する 指定図書：永田祐編 (2018)『福祉行財政と福祉計画』ミネルヴァ書房							
授業外における学修及び学生に期待すること							
国家試験の科目の中でも難易度の高い科目である。各講義の前に予習として、必ずテキストの該当箇所を読み、わからない用語は意味を調べて授業に臨むこと。復習として、講義時間中にとったノートを参考にしながら、再度テキストの該当箇所を読むこと。昨今の社会情勢や福祉課題に関心を持って、新聞やニュース番組等からも福祉行政や福祉計画に関わる情報を収集すること。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	当該授業の目的、進め方、評価方法について説明。 社会福祉の概念について理解する。	予習：第1章第1節を読む。復習：授業で示した資料を確認すること
2	福祉法制度の展開	第二次大戦後の我が国における社会福祉の法制度の 発展過程について理解する。	予習：第1章第2節を読む。復習：授業で示した資料を確認すること。
3	福祉計画の概要	福祉計画が実施されるようになった背景やその考え方について福祉行財政との関連で理解する。	予習：第1章第3節・第5章を読む。復習：授業で示した資料を確認すること。
4	福祉行政と法制度	福祉援助実践の場が、どのような法制度や福祉行政によって規定されているのか、活用できる社会資源は何か理解する。	予習：第2章第1節～第2節を読む。復習：授業で示した資料を確認すること。
5	福祉行政の組織と機関	福祉行政における国、および地方公共団体の役割と組織について理解する	予習：第2章第3節・第4章第1節～4節を読む。復習：授業で示した資料を確認すること。
6	福祉行政の組織と専門職	地方公共団体が運営主体の相談所等の相談援助職について理解する。	予習：第4章第5節～第6節を読む。復習：授業で示した資料を確認すること。
7	社会福祉基礎構造改革	社会福祉関係法の体系と社会福祉基礎構造及び構造改革について理解する。	予習：第2章第4節を読む。復習：授業で示した資料を確認すること。
8	国と地方の福祉財政	一般会計予算と社会保障関係費及び、地方自治体の財政と民生費の動向を理解する。	予習：第3章第4節～第5節を読む。復習：授業で示した資料を確認すること。
9	民間社会福祉事業の財源と税金	年金や諸手当などの社会保障や民間社会福祉事業の財源および税金について理解する。	予習：第4章第1節～第4節を読む。復習：授業で示した資料を確認すること。
10	福祉計画の理論と技法	福祉計画の概念や類型、計画の過程モデルとその特徴、ニーズ把握の技法について理解する。	予習：第6章を読む。復習：授業で示した資料を確認すること。
11	福祉計画の実際①	老人福祉計画と介護保険事業計画を理解する	予習：第7章第1～2節を読む。復習：授業で示した資料を確認すること。
12	福祉計画の実際②	障害者計画・障害者福祉計画・障害児福祉計画	予習：第7章第3節を読む。復習：授業で示した資料を確認すること。
13	福祉計画の実際③	次世代育成支援行動計画，子ども・子育て支援計画を理解する	予習：第7章第4節を読む。復習：授業で示した資料を確認すること。
14	福祉計画の実際④	地域福祉計画を理解する	予習：第7章第5節を読む。復習：授業で示した資料を確認すること。
15	まとめ	定期試験に向けて、今までの授業内容を振り返り、ポイントを理解する。	予習・前回までの資料やレジュメを読み、確認する。復習・授業内容のポイントを確認する。
16	定期試験		